

New Dynamic English

ニュー ダイナミック イングリッシュ 3



学習ガイド (中級)

モジュール 5

www.dyned.com

目次

はじめに.....	3
コースの構成.....	4
学習ガイドの使い方.....	5
学習の秘訣.....	6
レッスンの進め方.....	7
音声認識のレッスンを始める前に	9
音声認識機能の使い方.....	10
ヨーロッパ旅行 (On a Trip)	12
環境とエネルギー (Energy Sources)	19
道案内 (Directions)	24
復習 (Review Exercises)	28
ビデオ会話 (Video Interactions)	34
付録1 : 音声認識機能に関する注意事項	36
付録2 : Verb Markers	39
付録3 : 練習問題の解答.....	41

はじめに

ダイナミックイングリッシュが、より充実して新たに登場！クラスで実証された教授法に基づき、経験を積んだ指導者によって開発されたコースウェアです。このコースは語学を習得するのに最も重要な「聞き取り」に重点を置き、マルチメディアの効果を最大限に活用しています。それぞれのモジュールには、ネイティブの声で録音された数多くの聞き取り練習、さらにディクテーションや穴埋め練習などの様々な形で聞き取りの学習に焦点を置いた練習問題が入っています。それぞれのレベルに適した語彙と話題が慎重に選ばれ、順序立てて構成され、自然で生きた会話を習得できる様に工夫がなされています。

DynEd 独自のインタラクティブなプログラムによって学習者は自分のペースで学習ができます。学習中いつでも繰り返し聞いたり、日本語訳（ニューダイナミックイングリッシュ4を除く）、英文、用語表を画面に表示することが可能です。また、このコースの大きな特徴は音声認識機能を使ったスピーキング練習です。この練習によって、流暢に話す能力が着実に身につきます。更に、録音・音声再生機能を使って、自分の発音とネイティブの発音を聞き比べることもできます。音声認識機能を使用する前にこのプログラムの動作環境をご参照の上、お持ちのコンピュータで音声認識機能が使用可能であることをご確認ください。

コースの構成

レベル

ダイナミックイングリッシュの新シリーズには4つのレベルがあり、それぞれ2つのモジュールで構成されています。ニューダイナミックイングリッシュ1は、初級者を対象としています。ニューダイナミックイングリッシュ2は初級／中級の下、ニューダイナミックイングリッシュ3は中級レベルに焦点が置かれています。ニューダイナミックイングリッシュ4は中級の上、及び上級者を対象としています。

レッスン

ニューダイナミックイングリッシュには、いくつかの異なるタイプのレッスンがあります。「メインレッスン」では、何人かの人物が登場し、それぞれの生活や活動について紹介します。また、季節や気候、環境など一般的な話題について話し合います。「メインレッスン」に続く他のレッスンでは、「メインレッスン」で導入された単語や文法の復習をします。モジュール1の「Question Practice」では、質問文を作成することで理解力をより確かなものとします。モジュール2の「Matrix Game」では「Vocabulary Practice」のレッスンで学んだ語彙を復習します。それぞれのモジュールで学習する「Focus Exercises」は、文法に焦点を当て、「Dictations」と「Fill-Ins」は、表現や文法の細部を確認することにねらいを置いています。これらのレッスンは他のレッスンを学習した後にすることをお勧めします。「Video Interactions」では、電話での対応の仕方など日常起こるいくつかの場面を設定し、状況に適した表現を学ぶと同時に、ビデオの中の人物と実際に会話をすることでスピーキング能力を向上させることができます。

学習ガイドの使い方

この学習ガイドには、登場人物や文型、あるいはその両方を集中的に学習する方法など、それぞれのレッスンの重要な学習事項が紹介されています。まず最初にレッスンを一通り学習し、次に各文毎に文法や語句を何度も繰り返し学習してください。一度にいろいろなことを学ぼうとするのではなく、焦点を定め繰り返し学習することが大切です。

ニューダイナミックイングリッシュは、学習の進度に応じて語彙、表現、文法などの難易度が自動的に変化するように設計されています。ですから、学習ガイドに提示された学習事項に沿って、レッスンの中のそれぞれの登場人物、文法、構文に焦点を絞り学習すると、より学習効果が上がります。

各インタラクティブセッションの復習として、学習した文を暗唱したり書いたりしてください。また、実際の日常生活の出来事などを英語で表現してみてください。最後に学習ガイドの練習問題に取り組み、巻末の解答と照らし合わせてください。

学習の秘訣

毎回 20～45 分間のインタラクティブ学習をお勧めします。最も効果的な学習をするためには各レッスンを何回も、できれば違う日に繰り返し学習することが望ましいでしょう。各レッスンでの学習累積時間とレベルは、Student Records（ユーザーズガイド参照）で確認してください。各レッスンでのレベルが 2.5 以上に達するまで学習してから、次に進んでください。

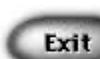
語学を学ぶことは、楽器を練習するようなものです。時間をかけて何度も練習、反復し、身につけてはなりません。各レッスンでより多くの時間を費やす程、多くのことを学ぶことができます。しかし、楽器の練習と同じ様に、効率良く時間を使わなくてはなりません。学習をする時は常にそのセッションの目標や目的を設定して行うと良いでしょう。そうすることによって、さらに集中した学習ができ、語学習得の長い道のりをより効果的に乗り越えることができます。

レッスンの進め方

(注) プログラムの始め方が分からない時は、ユーザーズ ガイドをご覧ください。
プログラムに慣れるために次の要領で最初のレッスンを学習してください。

1. 各文ごとに一時停止ボタンをクリックしてください。再生ボタンに変わり緑色の矢印が点滅します。
2. 再生ボタンが点滅している状態で繰り返しボタンをクリックしてください。同じ英文をもう一度聞くことができます。
3. 再生ボタンが点滅している状態で翻訳ボタンをクリックしてください。日本語訳を聞くことができます。
4. 再生ボタンが点滅している状態でテキスト表示ボタンをクリックしてください。英文テキストが表示されます。テキストの中のハイライトされた単語をクリックして用語表を参照してください。
5. 再生ボタンをクリックしてください。点滅がとまり、次の文に進みます。

(注) コースウェアに慣れるまでは、気がつかないうちにプログラムが止まった状態になっていることがあります。再生ボタンが点滅していると、プログラムは一時停止しています。プログラムを再開し先に進むには、点滅している再生ボタンをクリックしてください。質問されている時は、回答をクリックしてもプログラムを再開し、先に進むことができます。繰り返しボタン、翻訳ボタン、テキスト表示ボタンをクリックすると、プログラムは自動的に一時停止の状態になります。

	音声録音		繰り返し
	音声再生		一時停止
	テキスト表示		再生
	翻訳		巻き戻し
	終了		早送り

6. 前記のステップを各文でやってみてください。前の文に戻るには、巻き戻しボタンをクリックしてください。レッスンの最初に戻るには、一旦レッスンを終了させてください。
7. 理解力チェックの質問には時間制限があります。残り時間は、コントロールバーの右側に表示されます。回答に時間が必要なときは一時停止ボタンでプログラムを停止するか、繰り返しボタンを使って質問をもう一度聞いてください。
8. 初めの部分の文を何度か聞いた後に、今度は自分で言ってみましょう。巻き戻しボタンを使って最初まで戻ってください。
9. 録音ボタンを使って自分の声を録音してみてください。録音ボタンをクリックするとランプが緑色に変わります。録音が終わったら、音声再生ボタンを押して声を聞いてください。次に繰り返しボタンを押してネイティブの声と自分の声を比較してください。このステップはヒアリングとスピーキング練習に効果的です。文が長すぎて全部言えない時は、最初か最後の部分だけを言ってみてください。それでも難しくて言えない時は、状況をつかめるまで前後の文を何度も聞いてください。
10. それぞれのモジュールを終わらせるには数時間かかります。一度に全部学習するのではなく、20～30分毎に休憩をとることをお勧めします。
11. オプションメニューを使って用語表、学習記録、シャフラーレベルをチェックすることができます（詳しくは、ユーザーズガイドをご覧ください）。

音声認識のレッスンを始める前に

ニューダイナミックイングリッシュで使われている音声認識機能は、最新の画期的な機能です。音声認識機能を有効に使うことは、スピーキングの良い練習になります。

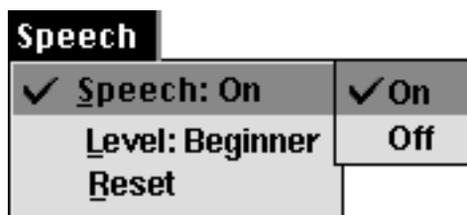
このコースでは、まずメインレッスンをマスターしてから次のレッスンに進んでください。リスニング力を充分養い、単語と構文を充分理解してから音声認識機能を使ったレッスンをする、より効果的な学習ができます。

音声認識機能が使用できるレッスンは、「Question Practice」、「Fill-Ins」、「Speech Practice」、「Video Interactions」です。レッスンに関する詳細はこのガイドブックかコースウェアの中のヘルプメニューをご覧ください。音声認識に関する詳細は、「音声認識機能に関する注意事項」をご参照ください。

音声認識機能の使い方



上の図はスピーチメータです。音声認識機能が音声を聞き取っている間は、このスピーチメータが画面に表示されます。スピーチメータが表示されていない時は、音声を入力することはできません。



音声認識のスイッチを入れるときは音声認識メニューから on を選んでください。スイッチを切るときは off を選んでください。



音声認識停止ボタン：文を読み終わった時にここをクリックすると、音声認識機能が止まり結果がすぐ出ます。又、途中で間違いに気付いた時、ここをクリックするとスピーチメータが消えます。



スピーキングボタン：文を言い直す時はここをクリックしてください。スピーチメータが表示されます。



OK ボタン：音声認識後、認識された文とこのボタンが画面に表示されることがあります。文が読み上げた通りに表示されたら、ここをクリックしてください。文が読み上げた通りに表示されなかった場合、スピーキングボタンをクリックしてもう一度言ってみてください。



音声再生ボタン：音声認識されている間は、音声の録音も同時になされています。自分の声を聞きたい時は、ここをクリックしてください。

音声認識機能をご使用になる場合は次のことを確認してください。

1. 音声認識メニューにある難易度を確認してください。「中級」又は「上級」を選択すると的確なスピードと、より正確な発音が要求されます。「初級」を選択した場合、音声認識機能は初級レベルの発音でも正しいと見なすように設定されます。
2. 文が正しいと認識されない場合、同じ言い方を続けしないでアクセントの位置を変えたり、文の読み方をいろいろと変えてみてください。速すぎたり遅すぎたりせず、はっきり言ってください。時には、“She is going...”と言わず、“She’s going...”と短縮形で言ってみたり、逆に“Here’re”ではなく“Here are”と言う方が良い場合もあります。
(注) アクセントは特に大切です。例えば、fifteen は i にアクセントがある場合と e にアクセントがある場合があります、i にアクセントがあると fifty と間違えやすくなります。音声認識機能は単語の音のパターンを識別します。違う言葉でも同じ音のパターンの場合、その違いを識別できないこともあります。
3. 音声認識機能が動作しない時は次のことをチェックしてみてください。
 - *スピーチメニューの on/off スイッチが off になっていませんか。
 - *マイクロホンがこわれていませんか。
 - *マイクロホンが正しく接続されていますか。
 - *マイクロホンが口から離れ過ぎていませんか。
 - *スピーチメータが表示される前に言い始めていませんか。
 - *ボリュームが低過ぎませんか。

難易度の変更

音声認識メニューの「中級」又は「上級」を選択した場合、よりネイティブに近い発話が要求されます。なかなかうまく認識されない時は、「初級」を選択してみてください。

ヨーロッパ旅行 (On a Trip)

ここでは、過去の経験やこれからの予定など、自分の生活をより詳しく述べる時の表現を紹介します。現在完了形に焦点を当て、特に出来事 (She went to Paris) と経験 (She has been to Paris) を述べる時の表現の違いを学習しましょう。

学習事項 1

「A Paris Vacation」をクリックしてください。Kathy のヨーロッパ旅行第一日目について学習します。Kathy の友達と友達のご主人が、週末にしたこと、今週末をするつもりなのかを述べている文を声に出して言ってみてください。

The wedding was yesterday.

After the wedding, the newly-weds left for a skiing trip.

They plan to stay there until Thursday.

Then they will travel on to Salzburg.



Follow--up Practice

先週末にしたこと、今週末に何ををするつもりなのかを話してみましよう。

学習事項 2

「Today's Activities」をクリックしてください。パリでのKathy の今日の行動について学習します。彼女は何をしましたか。今何をしていますか。彼女は後で何ををするつもりですか。

This morning she took a walk through the streets of Paris.

This evening she's going to have dinner with Pierre.

Now she's at the Louvre, the famous art museum.

She has been there for two hours, since 11:30.



Follow--up Practice

自分が今日したこと、今していること、これから何をするつもりかを話してみましょう。

例 : *This morning, I _____ . Now I am _____ . I have been here for/since _____ .
Tonight I _____ .*

学習事項 3

「Florence and Beyond」をクリックしてください。Kathy はヨーロッパの他の土地へ旅をします。彼女がどこへ行くつもりなのか、そこで何をするつもりなのか、以前そこへ行ったことがあるのかを把握してください。

She's going to take a train to Salzburg.

She has never been to Salzburg.



Follow--up Practice

あなたが行ったことのある場所について話す練習をしてみましょう。

例 : *I have been to _____ . I went there _____ years ago. I have never been to _____ .*

質問文の作成 (Question Practice)

1. マウスを使って質問文を作る場合は、単語を正しい順番にクリックしてください。例えば、「When」「was」「her flight」「supposed to」「arrive」とクリックすると“When was her flight supposed to arrive?”という質問文になります。考える時間が必要な時は、一時停止ボタンしてください。
2. スピーキングの練習をするには、語句を正しい順番に選び正しい文を言わなければなりません。スピーチメータが表示されたら、文をできるだけはっきり言ってください。考える時間が必要な時は、一時停止ボタンを使ってください。
3. 正しい質問文ができない時はもう一度やり直してください。数回しても正しいと認識されない時は、正しい文が表示され同時に読み上げられます。



文法 (Focus Exercises)

このレッスンは文法に焦点を当て、文を作る練習をします。

1. ボックスの中の適当な語句を下線部に移動し、正しい文を完成してください。
2. ボックスの中の語句には必要ないものもあります。気を付けてください。

The screenshot shows a software interface for a grammar exercise. At the top left, there is a question mark icon. Below it are three image boxes: a woman, the Eiffel Tower, and a calendar. The calendar shows a grid with days of the week (S, M, T, W, T, F, S) and some cells are highlighted in orange. In the top right corner, there is a score of 100. The main area is a dark blue box containing the sentence: "She has _____ in Paris _____ two days." Below the sentence are five word boxes: "arrived", "been", "for", and "since". At the bottom of the interface is a control bar with buttons for "Exit", a microphone icon, a speaker icon, a back arrow, a refresh icon, a pause icon, a forward arrow, an "etc" button, a Japanese flag icon, and a volume icon.

練習問題

A. 動詞の過去完了形を使って空欄を埋めましょう。

例 : *Kathy has (be) been in Paris before.*

1. It is the first vacation she has (have) _____ in a long time.
2. This isn't the first time she has (be) _____ in Paris.
3. Kathy has never (be) _____ to Florence.
4. Kathy has (visit) _____ Rome.

B. 完全な文の形で質問に答えましょう。

例 : *Has Kathy been to Paris before?*

Yes, Kathy has been to Paris two times before.

1. Has Kathy ever been to Salzburg?

2. Has Kathy ever been to Rome?

C. 動詞の過去形または現在完了形のどちらかを使って文を完成させましょう。

1. Has Kathy been in Paris before?

Yes, she has. This is the third time she (be) has been in Paris. She first (come) _____ to Paris as a student, ten years ago. Two years ago she (come) _____ on business.

2. What other European cities has Kathy visited?

She (be) _____ to Rome. She (visit) _____ Rome the last time she was in Italy.

D. for を使って文を書き換えましょう。

例 : *It's 1994. She has known Pierre **since** 1992.*

*She has known Pierre **for** two years.*

1. Today is Monday. She has been in Paris since Saturday.

2. It's now 1:30. She has been at the Louvre since 11:30.

3. It's 1994. She hasn't been to Paris since 1992.

E. 次の答え (A) を読んで、質問 (Q) を完成させましょう。

例 : Q. *Has Kathy been to Paris before?*

A. *Yes, she has. This is the third time she has been in Paris.*

1. Q. When _____

A. Kathy arrived in Paris the day before yesterday.

2. Q. How long _____

A. She has been in Paris for two days, since Saturday.

3. Q. When _____

A. Her flight was supposed to arrive at 1:00.

4. Q. Has _____

A. Yes, she has. At 9:00 she had a cup of coffee in a small cafe.

5. Q. Who _____

A. She is going to meet Pierre for dinner tonight.

6. Q. Has _____

A. No, she hasn't. This will be her first time in Salzburg.

7. Q. Who _____

A. Mozart was born in Salzburg.

環境とエネルギー (Energy Sources)

ここでは、環境や公害問題などに関して討論する時の表現を紹介します。化石燃料、廃棄ガス、酸性雨、放射エネルギー、地球温暖化などの重要な科学用語を習得しましょう。分類、原因と結果、仮定法、受動態なども学習してください。

学習事項 1

「Our Energy Needs」をクリックしてください。エネルギーがなぜ必要か述べている文に気を付けて聞きましょう。ここで取り上げられる様々なエネルギーに注目してください。難しい単語は翻訳ボタンを使って調べてください。

We need energy for heat, for light, and for transportation.

Fossil fuels are an important source of energy.



学習事項 2

「What about the Future?」をクリックしてください。化石燃料とそれに伴った問題に焦点を当てます。化石燃料の消費をなぜ減らさなくてはならないのか述べている文に注意して聞いてみましょう。大気汚染と地球温暖化について述べている文は特に注意して聞いてください。

One of the main problems we now face is how to reduce the use of fossil fuels.

One reason is that the supply of fossil fuels is running out.



学習事項 3

原子力発電と水力発電を見てみましょう。2つのエネルギー資源の良い点と悪い点を述べている文を聞いて、その文を声に出して言う練習をしてみましょう。

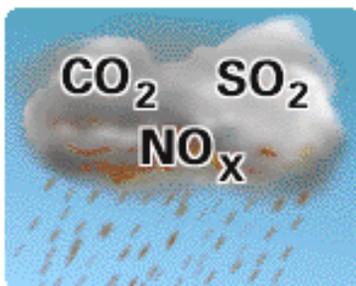


Nuclear reactors are not completely safe.

The radiation from nuclear waste products is very dangerous.

学習事項 4

レッスンをもう一度聞きましょう。原因と結果に関する文に注意し、これらの文を充分学習してください。



Burning fossil fuels causes air pollution.

Air pollution causes acid rain, which is killing many of our trees.

Waste gases enter our atmosphere and cause pollution, which damages our environment.

学習事項 5

電気がどのように生成されるのかに注目します。電気を生成するのにどのようなエネルギー資源が使用されるのでしょうか。電気がどのように生成されるか表現するのに受動態が使われていることに注意してください。

Solar cells can convert sunlight directly into electricity.

The energy of falling water is converted into electricity.



Follow-up Practice

あなたの町のおもなエネルギー源は何ですか。

今から50年後のエネルギーは何になるとおもいますか。

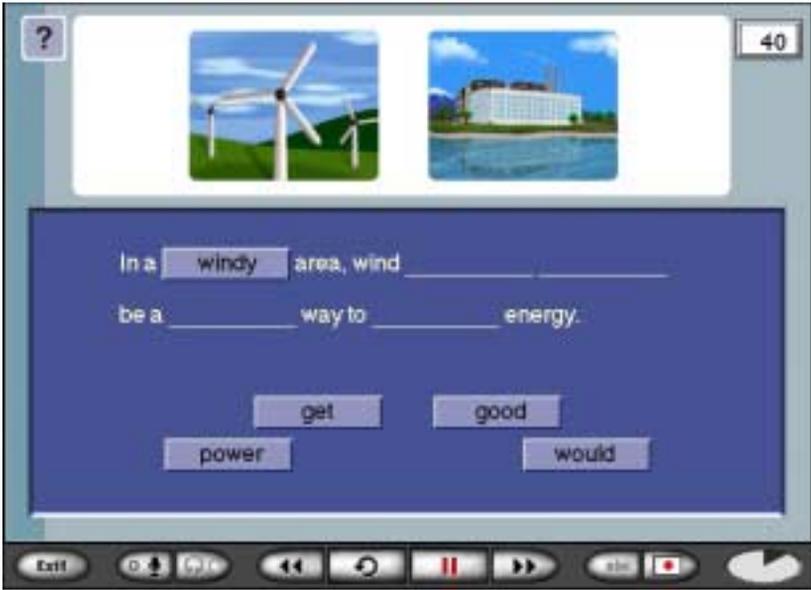
学習事項 6

「Questions」をクリックしてください。質問を聞いて、答えをクリックしてください。そのあと、正しいネイティブの答えを聞き、自分でも言って録音してみましょう。自分の発音とネイティブの発音を聞き比べてください。

文法 (Focus Exercises)

このレッスンは文法に焦点を当て、文を作る練習をします。

1. ボックスの中の適当な語句を下線部に移動し、正しい文を完成してください。
2. ボックスの中の語句には必要ないものもあります。気を付けてください。



The screenshot shows a software interface for a grammar exercise. At the top left is a question mark icon, and at the top right is a timer showing '40'. Below these are two images: a wind turbine on a grassy hill and a large industrial building with a cooling tower. The main area is a blue box containing the text: 'In a windy area, wind _____ be a _____ way to _____ energy.' Below the text are four buttons: 'get', 'good', 'power', and 'would'. At the bottom of the interface is a control bar with buttons for 'Exit', volume, 'Back', 'Repeat', 'Pause', 'Next', 'Stop', and a language selection button (currently set to Japanese).

練習問題

A. 左の語句と右の語句を組み合わせましょう。

- a. Carbon gases _____ causes health problems.
- b. Acid rain kills _____ kill fish and birds.
- c. Radiation _____ acid rain.
- d. Oil spills _____ problems for fish.
- e. Dams cause _____ cause global warming.
- f. Air pollution causes _____ forests.

B. **cause** または **result** を空欄に入れましょう。

例 : One result of an oil spill is the death of fish and other wildlife.

- 1. Pollution is a _____ of burning fossil fuels.
- 2. One _____ of acid rain is the death of trees.
- 3. Oil spills are a _____ of death to fish and birds.
- 4. Burning fossil fuels is a _____ of pollution.

C. 受動態を使って空欄を埋めましょう。

例 : Energy (need) is needed to run our factories.

- 1. Fossil fuels (burn) _____ to generate electricity.
- 2. Dams (use) _____ to generate power.
- 3. Forests (kill) _____ by acid rain.
- 4. Acid rain (cause) _____ by air pollution.

D. 次の文を受動態を使って書き換えましょう。

例 : *We burn fossil fuels to generate electricity.*

Fossil fuels are burned to generate electricity.

1. We convert the energy of falling water into electricity.

2. Burning fossil fuels produces waste gases.

3. Burning fossil fuels causes air pollution.

4. Solar cells convert sunlight into electricity.

道案内 (Directions)

ここでは、場所を表す表現や道案内の仕方、街の中の主要な場所の名前などに焦点を当て学習します。また **upper left-hand corner** など四角の中の位置の表し方を紹介し、案内に従って目的地に行く練習もします。

学習事項 1

「City Directions」をクリックしてください。ダイネンド市を見てください。地図の各場所をクリックして、その場所までの道順を聞きます。マウスを使ってその説明の通り移動し、その文を声に出して言う練習をしましょう。

turn right, make a right, take a right などのように、同じ道順を説明するのにいくつかの異なった表現が用いられていることに注意しましょう。



Go out the front door of the hotel.

Go to the corner.

Turn right.

Cross the street.

学習事項 2

「City Quiz」をクリックして道順を聞いてください。マウスを使ってその説明の通り移動し、最終目的地をクリックしてください。正解の時は、目的地の位置に関する説明を聞き、その文を録音機能を使って言う練習をしてみましょう。

The art museum is directly across from the hotel.

The hospital is one block west of the hotel.

Follow-up Practice

Turn right, go straight, cross the street など学習した表現を使って自宅から近くの場所までの道順を説明する練習をしてみましょう。

学習事項 3

「Spatial Relations」をクリックしてください。グリッドの位置を学習します。。それぞれの四角をクリックして、位置の表し方を聞きましょう。その文を声に出して言う練習をし、録音をしてみましょう。表し方を聞く前に四角の位置を自分から言ってみるのもよいでしょう。

このレッスンで学習する表現は、学校や会社で英語の指示を理解するのに役立ちます。

This is the upper right-hand corner.

This is the second square in the top row.

学習事項 4

「Spatial Relations」をもう一度クリックしてください。グリッドのまん中の四角をクリックすると、クエスチョンマークが現われます。そこをクリックすると画面が右の絵のように変わり質問が出ますので、質問に答えながら位置を表わす表現を学習してください。



What color is the flower in the first square of the middle row?

What animal is in the bottom row, second from the right?

Follow-up Practice

位置を表わす表現を使って、人や物を述べる練習をしてみましょう。

The person near the door is _____.

The third person from the left is _____.

学習事項 5

「City Quiz」をもう一度クリックし道順を聞き、今度は間違った目的地をクリックしてみてください。なぜ間違ったのか説明を聞きその文を声に出して言う練習をしてください。もう一度道順を聞き正しい目的地をクリックしてください。

You went too far.

You didn't go far enough.

You went west but you should have gone east.

「～すべきだった」、「～した方がよかった」の表現に *You should have ~* を用いていることに注意してください。

Follow-up Practice

しなければならなかったのにしなかったことは何ですか。いくつか挙げてみてください。

例 : *I should have studied harder, but I watched television instead.*

練習問題

A. 文を完成させましょう。

例 : *I is the second from the right in the middle row.*

A	B	C	D	E
F	G	H	I	J
K	L	M	N	O

1. G is the _____ from the left in the _____ row.
2. H is in the _____ of the _____ row.
3. E is in the upper _____ -hand corner.
4. N is second from the _____ in the _____ row.
5. K is in the _____ left corner.
6. C is the _____ square in the _____ row.

B. ホテルからそれぞれの場所までの道順を書きましょう。

例 : *Police Station*

Go out the front door of the hotel. Turn left. Cross First Avenue. Go straight. It's on your left, next to the hospital.



Park:

Post Office:

復習 (Review Exercises)

ディクテーション (Dictations)

このレッスンでは重要な単語や語句に焦点を当てて学習します。最初に、レッスンの中の文章が4つ読み上げられます。次に画面が変わり、画面上部に15の語句が表示されます。画面下部には所々空欄がある文が表示され、読み上げられます。



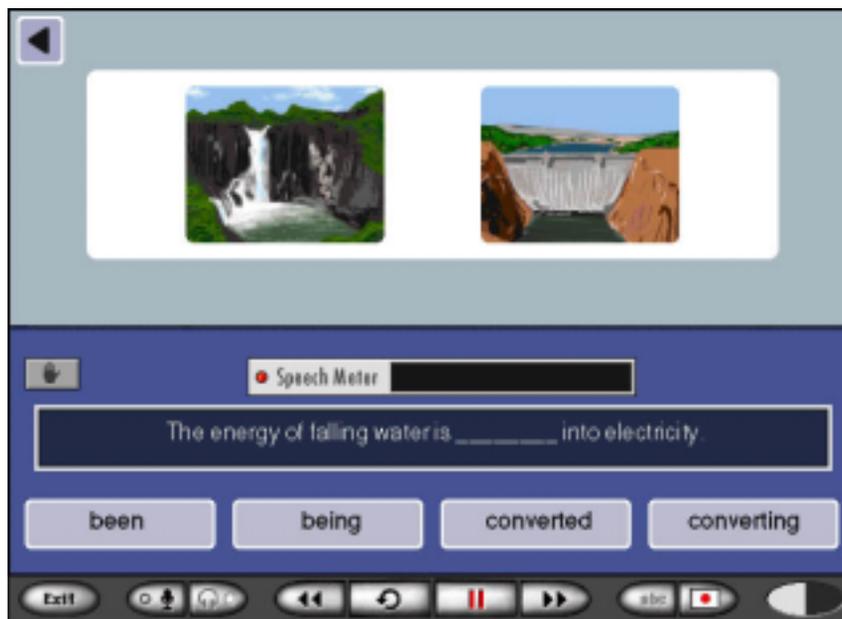
次の順序に従ってディクテーションを進めてください：

1. 文頭の番号をクリックするか、繰り返しボタンを押して文をもう一度聞いてください。繰り返しボタンを使うと、プログラムは一時停止した状態になるので十分な時間をとることができます。
2. 文中の空欄に当てはまる単語を、画面上部にある単語の中から見つけクリックしてください。選ばれた単語が赤い枠で囲まれます。次にその単語の入る空欄をクリックしてください。空欄に選んだ単語が入ります。間違いに気が付いた時は、同じ要領で別の単語をクリックして単語を入れ替えてください。
3. 残りの空欄に単語を入れてください。どの順番で単語を入れてもかまいません。
4. 同じ要領で、2～4も進めてください。

5. 4つの文が完成したら“SCORE”をクリックすると、各文が読み上げられ得点が表示されます。その際、赤で表示された語句は間違いです。
6. 得点が 65% 以下の場合にはもう一度やってみたいかどうか聞かれます。“Yes”をクリックするともう一度最初からディクテーションをすることができます。
7. 得点が 65% 以上の場合、各文をもう一度聞いて、画面に表示された文を確認してください。赤で表示された単語は間違いです。正しい単語を入れ直してください。
8. 例えば、1 番の文を修正したい時は、まず番号をクリックして文を聞き直してください。次に正しい答えをクリックし、訂正したい文中の単語をクリックします。正しい選択の時は単語が白に変わります。
9. 間違いを直したら、“END”をクリックしてください。同じディクテーションにもう一度挑戦するか、他のディクテーションに進むか聞かれます。また、ディクテーションを終わりにしてメインメニューに戻ることもできます。

穴埋め練習 (Fill-Ins)

1. 文を読んで、空欄に入る正しい答えを、表示された4つの単語から選んでください。その際、画面のグラフィックスを参考にしてください。



2. 答えをクリックするか、音声認識を使う場合は、答えを空欄に入れた形で文を読んでください。音声認識機能は、文を聞き取るように設定されていますので、選んだ単語だけを読むのではなく文全体を読んでください。
3. 文を読み上げると、その文が画面に表示されます。表示された文が正しく認識された時は、「OK」をクリックしてください。表示された文が読んだ文と違う時は、スピーキングボタンをクリックし、スピーチメータが画面に表示されてからもう一度読み直してみてください。音声認識機能に関する詳細は、コースウェアのヘルプメニューの「音声認識」をご参照ください。
4. 自分の声とネイティブの声を比較する時は、音声再生ボタンを使ってください。発音を聞き比べることはとても大切です。
5. それぞれの穴埋め問題に答えると解答が表示され読み上げられます。黄色くハイライトされた答えをクリックするとその単語に関する説明が画面に表示されます。がんばってください。

スピーキングの練習 (Speech Practice)

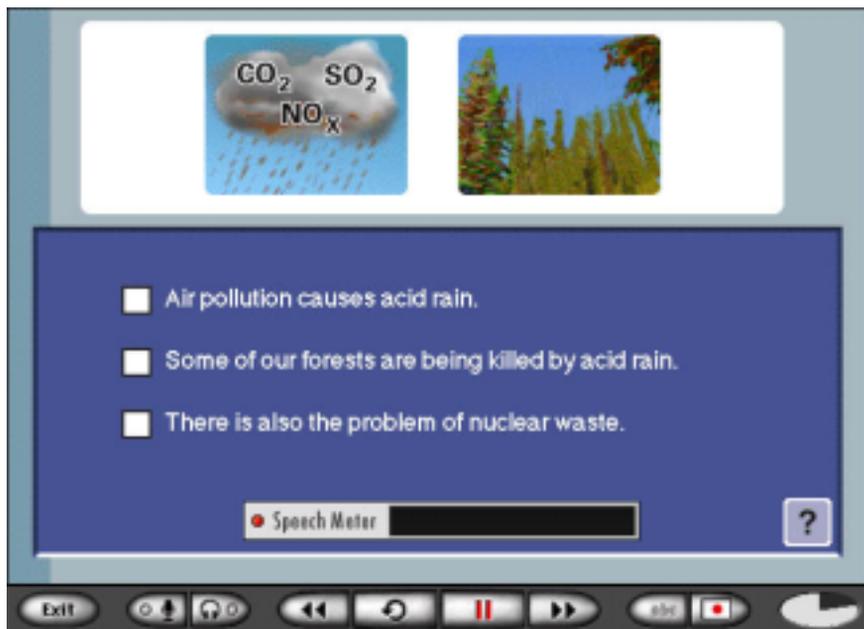
グループ 1 : Sentence Reading

1. 画面に表示された文を一文ずつ読んでください。その際、どんな順序で読んでも構いません。
2. あなたが読み上げた文が認識された時は、その文がハイライトされもう一度読み上げられます。
3. 認識されない時は、もう一度やってみてください。文頭のスピーカボタンをクリックするとネイティブによる正しい発音、イントネーションを聞くことができます。
4. それぞれの文は、何度でも練習することができます。次の画面に進むには画面右下の矢印のボタンをクリックしてください。



ループ 2 : Answering Questions

1. 質問をよく聞き、画面に表示されている文を読んでください。
2. 質問に対する正しい答えを選んでください。考える時間が必要な時は、一時停止ボタンを使ってください。再生ボタンをクリックすると、プログラムは再開されます。
3. スピーチメータが画面に表示されたら答えを読み上げてください。それぞれの文の前のボックスか文自体をクリックして答えることもできます。
4. 読み上げた文が正しい答えか否かにかかわらず、文が認識された時は文の前のボックスにチェックマークがつきます。
5. 正解の場合は、その文がハイライトされます。



グループ 3 : Speech Quiz

1. グループ 1 ～ 2 の中の問題が 1 5 問アトランダムに出ます。
2. 得点は、画面の右上に表示されます。但し、グループ 1 の問題では同じ文を何回でも読むことが出来ますが、最初に認識された時にだけ得点が加算されます。
3. それぞれの問題は、他のグループの答え方と同じです。

ビデオ会話 (Video Interactions)

このレッスンでは、あなたが学習してきた英語を、ネイティブの人々が実際にどのように使っているのかをビデオで紹介します。又、ネイティブの人々と英語で話すのがどのようなものなのかを実際に体験することができます。ここでは、電話での対応の仕方やその他、日常生活の様々な場面で役立つ表現を学習します。



|学習は次の要領で進めてください：

1. まず、それぞれのセクションの会話を一通り聞き、大体の内容を把握してください。その際、人物の表情や動作にも気を付けてください。
2. 会話文をもう一度、一文ずつ繰り返し聞いてください。また、テキスト表示ボタンを使って文をよく学習してください。ハイライトされた単語をクリックすると用語表が表示されます。単語の意味や例文などを読み、語彙の学習もしてください。ハイライトされていない語句でわからないものがあれば辞書を使ってください。
3. 今度は文を声に出して言う練習です。最初は文を全部言おうとせず、短い句に区切って言うみてください。

4. セクションにより「Interactive」の場面が含まれています。「Interactive」の場面では、あなたがビデオの中の人物になって会話をします。ビデオ・スクリーンの右側に文が表示されたら、その中から適当なものを選んでください。表示された文の中には、会話のその場面に適切なものが複数含まれていることがあり、その場合はどちらを選んでも正解です。スピーチメータが画面に表示されたら、できるだけはっきりと文を言ってみてください。音声認識を使わず、選んだ文をクリックして答えることもできます。音声認識に関する詳細は、ヘルプメニューをご参照ください。

5. 「Hot Seats」をクリックしてください（このセクションが含まれていないモジュールもあります）。「Hot Seats」では、あなたがビデオの中の人物と会話をします。ビデオ・スクリーンの右側に質問文が表示されたら、聞きたい質問を選んでください。ビデオ・スクリーンの人物が答えてくれます。

付録1：音声認識機能に関する注意事項

指導者の方へ

ダイナミック イングリッシュで使われている音声認識機能は、最新の画期的な機能です。音声認識機能の性能を十分に理解し、この新しい技術を最大限に活用していただく為に、以下の点を念頭においてご指導ください。

1. 音声認識機能を有効に使うことは、スピーキングの良い練習になります。しかし、正確な発音を指導するという事に関しては、まだ技術的に限界があります。音声認識機能を使ったレッスンを繰り返し学習することで確かに発音は上達しますが、発音矯正の為のコースではありません。
2. 制限時間内に答えたり、マイクロホンの正しい使い方に慣れるのに時間がかかります。充分練習してください。
3. マイクロホンは適切な位置に置くようにしてください。近すぎたり遠すぎたりすると正しい結果が得られません。
4. 音声認識機能が正しく動作しない場合は、画面上部の音声認識メニューの中のリセットを使って音声認識機能を設定し直してください。また、一旦レッスンを終了し、メインメニューに戻ると音声認識機能は、自動的に設定し直されます。
5. 音声認識のレッスンを声質の違う学習者が交代で使うと音声認識機能が正しく動作しないことがあります。学習者が代わる時は、音声認識メニューのリセットで音声認識を設定し直すか、一旦レッスンを終了し、メインメニューに戻ってください。

指導にあたっての注意事項

音声为正しく認識されにくい時は、以下のことをご指導ください。

1. スピードを変えて読むようにしてください。
2. 例えば “he is going” を “he’s going” と短縮形で読んでみてください。また逆に、“where’re you from” を “where are you from” と一つ一つ読んでみてください。
3. 何回しても単語が正しいと認められない場合、アクセントを変えてみてください。例えば、fifteen は i にアクセントがある場合と e にアクセントがある場合があり、i にアクセントがあると fifty と間違えやすくなります。
4. 難しい発音の仲間を見つけ出してください。例えば her と are は両方とも r の音で終わります。このような難しい単語は、ネイティブの発音をよく聞くようにしてください。
5. 画面上部にある音声認識メニューの「上級」が選択されている場合、音声認識機能は発音に対してかなり厳しくなり、選択されていない場合に比べると日本人の学習者では、正解率は10～15パーセント低くなります。
6. 音声認識メニューの「上級」が選択され、ネイティブスピーカーが適切なスピードで鮮明に発音した場合、正解率は普通 85～95 パーセントです。初級の学習者で音声認識メニューの「初級」が選択されている場合、最初正解率はだいたい 60～80 パーセントですが、練習することによってかなり上達します。自信がついたら「中級」から「上級」へと進めてください。
7. 音声認識機能を使って学習しているときは、できるだけ録音された自分の声を聞くようにしてください。音声再生ボタンをクリックして自分の声を聞き、次に繰り返しボタンをクリックしてネイティブの発音と聞き比べるようにしてください。音声再生ボタンと繰り返しボタンは何度か使用しているうちに慣れてくるはずです。

学習者の方へ

このコースウェアは、音声認識機能を使って楽しく効果的にスピーキングの練習をすることができます。明確な発音と流暢な話し方を上達させると同時に、重要な文の構成をさらに学習し、語彙を増やします。最初にメインレッスンで録音機能を使って自分の声とネイティブの声を聴き比べる練習を充分してから、音声認識機能を使ったスピーキングの練習をしてください。音声認識機能は、正しいと認められるのにある程度の流暢さと速度を要求されるので、英会話の初歩の方には少し難しいかもしれません。

付録 2 : Verb Markers

ニューダイナミックイングリッシュの用語表には、次の様な 5 つの verb markers が表示されます。

1. **V(d)** lived, ate, came, was, had, went
2. **modal** will live, may eat, can go
3. **have+V(n)** has lived, has eaten, has been
4. **be+V(ing)** is living, is eating, is going
5. **be+V(n)** is eaten, is sold, is converted

上の表で V(d) は過去形、V(ing) は進行形、V(n) は過去分詞を表わします。下の表はその幾つかの例です。

V	V(d)	V(ing)	V(n)
be	was/were	being	been
work	worked	working	worked
speak	spoke	speaking	spoken
eat	ate	eating	eaten

verb marker は単独で使ったり、組み合わせて使い新しい動詞を作ったりします。例えば動詞 eat を marker 1 に当てはめると ate (He ate dinner) となり、marker 4 にあてはめると、is eating (He is eating dinner) になります。marker 1 と marker 4 を合わせると、was eating (He was eating dinner) となります。もし、5 つのうちのどれにも合わせられないと、単純現在時制 (He eats dinner every evening) という事になります。

次は 2 つの verb marker を組み合わせて使った幾つかの例です。

1+2 V(d) modal	could go, might come, would sell
1+3 V(d) have+V(n)	had gone, had come, had sold
1+4 V(d) be+V(ing)	was going, was coming, were selling
1+5 V(d) be+V(n)	was made, was eaten, were sold
3+4 have+V(n)be+V(ing)	have been living, has been selling
3+5 have+V(n)be+V(n)	have been eaten, have been sold

verb marker を組み合わせて使う時は、小さい数の marker が大きい数の marker の前に位置します。例えば、動詞の sell を marker 3 と marker 5 と組み合わせた場合は、3+5 has been sold というように marker 3 は marker 5 の前に来ます。marker 5 が marker 3 の前に来て 5+3 be had sold となるのは誤りです。

verb marker についての説明は、各 verb marker の用語表の画面を参照してください。

付録3：練習問題の解答

ヨーロッパ旅行 (On a Trip)

練習問題 A

1. had
2. been
3. been
4. visited

練習問題 B

1. No, Kathy has never been to Salzburg.
2. Yes, she has been to Rome.

練習問題 C

1. Yes, she has. This is the third time she has been in Paris. She first came to Paris as a student, ten years ago. Two years ago she came on business.
2. She has been to Rome. She visited Rome the last time she was in Italy.

練習問題 D

1. She has been in Paris for two days.
2. She has been at the Louvre for two hours.
3. She hasn't been to Paris for two years.

練習問題 E

1. When did Kathy arrive in Paris?
2. How long has Kathy been in Paris?
3. When was her flight supposed to arrive?
4. Has Kathy had any coffee yet today?
5. Who is Kathy going to meet for dinner tonight?
6. Has Kathy ever been to Salzburg? OR
Has Kathy been to Salzburg before?
7. Who was born in Salzburg?

環境とエネルギー (Energy Sources)

練習問題 A

c, d, f, e, a, b

練習問題 B

1. result
2. result
3. cause
4. cause

練習問題 C

1. are burned
2. are used
3. are killed
4. is caused

練習問題 D

1. The energy of falling water is converted into electricity.
2. Waste gases are produced by burning fossil fuels.
3. Air pollution is caused by burning fossil fuels.
4. Sunlight is converted into electricity by solar cells.

道案内 (Directions)

練習問題 A

1. second, middle
2. center, middle
3. right
4. right, bottom
5. lower
6. third, first

練習問題 B

Park

例 : *Go out the front door of the hotel. Turn left. Go to the end of the block. Turn right and cross High Street. Turn left. Cross First Avenue. It's on the corner.*

Post Office

例 : *Go out the door of the hotel. Turn left. Go to the corner. Turn left. It will be on your left, in the middle of the block.*

Copyright © 2003 DynEd International, Inc. All rights reserved.

QuickTime™とQuickTimeロゴは法的に使用許可を得た商標です。

Version 3.0

1/00